

そらこめ通信 No.94 2018年11月14日発行

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

しばらくご無沙汰しておりました。皆さまにはお変わりありませんでしょうか。弊社の事業ですが、昨年に比べ3日遅れて9月24日から始まった稲刈りは、10月6日に終了しました。一般販売用のコメについては全て等級検査を終えたのち玄米にて保管し、新米の販売も順次開始して順調に推移しております。今年の出来ですが、6月中旬以降の天候不良が響き、収量については平年の9割程度となりました。食味については、昨年の数値には若干及ばないものの、皆さまに満足して頂ける出来であると自負しております。

農水省の発表(10月31日)によると、2018年産米の単位面積当たりの収穫量を表す「作況指数」では、全国が99で「平年並み」とのこと。これに対して北海道は90の「不良」で、これは9年ぶりの低水準なのだそうです。北海道農政事務所によれば、道内11地区全域が94以下の「不良」とのことでした。ちなみに、他の府県はというと、コメどころである新潟県が95の「やや不良」、山形県と秋田県は96で同様の「やや不良」でした。主食用米の予想収量でも今年は新潟県に抜かれることが確定的で、北海道は2年ぶりに全国一を返上し2位に転落するとありました。

今年の北海道は台風被害に加えて大きな地震災害があり本当に大変な年でした。特に、胆振東部地震では、現在でも不自由な生活を余儀なくされておられる方が多くおられます。被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げますと同時に、一日も早い復興、復旧を願ってやみません。



ボートを使った除草剤散布(6月6日)



アライグマを捕獲しました(6月22日)



JAIによる直播講習会に参加(7月6日)



出穂を予測する為幼穂を確認(7月17日)



落水後は水路の補修も行います(9月14日)



稲刈りのようす(9月29日)



モミをトラックに移す作業(9月29日)



コンバインを操作するのは拓哉さん



モミを積んだトラックは倉庫へ(9月29日)



乾燥機に送るためホッパーに入れられます



稼働する4台の乾燥機(9月29日)



圃場ごとにモミのサンプルを採取(9月29日)



モミ摺りのようす(10月22日)



モミ摺りのようす(10月22日)



検査場で等級検査を受ける(10月22日)



検査員による検査のようす(10月22日)



この日は「ゆめびりか」の検査でした～全量1等米 (10月22日)



北海道内がブラックアウトの後、電気が復旧し自宅のTVで最初に見た厚真町上空から撮影した写真に得も言われぬ衝撃を受けました。大規模な地滑りでむき出しになった痛々しい山肌の姿は、初めて経験したブラックアウトとともに一生忘れることはないでしょう。「時薬」という言葉があるように、生きていく中で時間でしか癒されない事が時として起きる…。今回改めて思い知らされた気がします。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 facebookによるブログ「生産日誌」更新中